



Bösendorfer
DER KLANG, DER BERÜHRT

楽器からアプローチする演奏法

リストとベーゼンドルファー・ピアノ

～ピアノの魔術師リストが愛した楽器ベーゼンドルファー～

時代と楽器を理解して
初めてわかる、
名曲の魅力と作曲家の想い

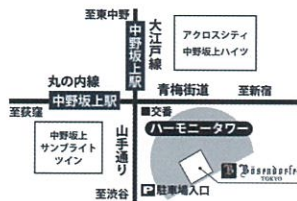
“オーケストラのような表情”へのこだわりを持った偉人
「ベーゼンドルファー」と「フランツ・リスト」。
製作者と作曲家兼演奏家の2人をつなげたのは、
ピアノへの共通の価値観でした。
銘器ベーゼンドルファーの秘密を探ることで、
リスト作品へのアプローチ法の再発見になることでしょう。

2017 2 / 12 (日)

開場 12:00 開演 12:30(約120分)

会場 **ベーゼンドルファー 東京ショールーム**

東京都中野区本町1-32-2 ハーモニースクエア内 ハーモニータワー1F
●地下鉄丸ノ内線・大江戸線「中野坂上駅」より直結徒歩3分
電話:03-6681-5189



◆受講料 一般:3,000円(税込) 学生:2,000円(税込)
ヤマノミュージックパートナーシップカード会員:2,500円(税込)
※当日は現金のみでのお取り扱いになります。(受講料は当日精算のみとなります)

- 前半 「ベーゼンドルファーの魅力」
音の秘密や美学、作曲家たちに愛された理由を、フラッグシップモデル
“インペリアル”をご用意してお話しをしていきます。
- 後半 「リストを弾く」
作品へのアプローチや、リストの魅力を最大限に引き出すための演奏のコツを、
テキストを交えて伝授いたします。



© Katsuo Sakayori

久元 祐子 Yuko Hisamoto (ベーゼンドルファーアーティスト)

東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。ベーゼンドルファー(1829年製)、プレイエル(1843年製)、エラル(1868年製)などを所蔵。歴史的楽器を用いた演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。
国立音楽大学准教授 日本ラトビア音楽協会理事。 久元 祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>



使用テキスト
名器から生まれた名曲③
リストとベーゼンドルファー・ピアノ
学研プラス:刊
定価 1,500円(税抜)
(2016年5月10日刊行)



申込書 2017.2.12(日) 「久元 祐子セミナー」

■お名前 _____ (一般 / 会員 / 学生)

■TEL. _____

■ご住所 _____

■FAX. _____

■E-mail _____

※お客さまの個人情報は法令に基づき、管理いたします。また、山野楽器の商品、各種イベント、店舗、音楽教室などのご案内に利用させていただく場合がございます。

お問い合わせ
お申し込みは

銀座山野楽器本店 6F ピアノフロア
TEL.03-5250-1058 FAX.03-3567-9074 東京都中央区銀座4-5-6